

# さかき



心・技・体

(関連記事3ページ)



## 12月定例会

- ここが聞きたい!一般質問9名…4ページ
- わがまちのアイドル……………10ページ

# 坂城町奨学金 令和6年4月から 10,000円/月に増額 温泉施設持続化負担金 1,200万円を予算化

第4回定例会は12月5日から12月18日までの会期で開かれ、一般質問には9名が登壇した。条例の一部改正、補正予算などの議案を審議し、すべて原案のとおり可決した。

## 条例改正

◆坂城町奨学金基金の設置、管理及び処分並びに奨学金の給与に関する条例の一部改正

当町出身の学生に対する修学支援の拡充を目的に、令和6年4月1日から坂城町奨学金の給与額及び対象要件の見直しを図る。

改正の内容として、近年の物価高騰などの状況を鑑み、奨学金の給与額を現行の月額5千円から月額1万円に引き上げるとともに、学生の多様性に応じた教育を推進するという観点から、奨学金の受給対象要件について見直しを行う。また、令和5年度までに奨学生の決定を受けた学生についても、施行日以後の奨学金は改正後の給与額とする経過措置を設ける。

◆坂城町国民健康保険税条例の一部改正

子育て世帯の負担軽減、次世代育成支援等の観点から、出産する被保険者に係る産前産後期間相当分の保険料のうち、均等割額及び所得割額を免除することとし、単胎妊娠の場合は4カ月間分、多胎妊娠の場合は6カ月間分を免除する。

## 一般会計補正予算 (第6号)

問 温泉施設持続化負担金の内容は。

答 昨今の燃料費、電気価格などの高騰の影響を受けている坂城町温泉施設(びんぐし湯さん館)に対し、燃料費等の高騰分を支援する。

問 地域猫不妊去勢手術費補助金の内容は。

答 飼い主のいない猫の増加防止を目的に、猫の不妊去勢手術に要する費用に対して、自治区及び町内に活動の本拠を有する団体に補助金を交付している。今年度、各自治区からの要請が多くあり、地域の協力を得られていることから、春の繁殖期により多くの対応ができるよう予算を増額する。助成額については、不妊手術が1頭あたり1万円

## 令和5年度一般会計補正予算(主なもの)

◆第6号補正額	9,224万円
歳入	
○国庫支出金	5,181万円
○ふるさと寄附などの寄附金	1,305万円
○基金繰入金	2,238万円
歳出	
○温泉施設持続化負担金	1,200万円
○後期高齢者療養給付費負担金	2,307万円
○障害児通所等給付費	800万円
○中小企業融資に係る保証料補給金	500万円
○ふるさとまちづくり基金への積立金	1,200万円
○地域猫不妊去勢手術費補助金	25万円
◆第7号補正額	1億1,705万円
歳入	
○国庫支出金	1億53万円
○県支出金	5万円
○基金繰入金	1,647万円
歳出	
○物価高騰対応重点支援給付金に係る経費	1億53万円
○自転車用ヘルメット購入支援事業補助金	10万円
○県の給与改定に準じて行う、議員及び特別職の期末手当並びに一般職の給与及び期末・勤勉手当の改定等に伴う人件費	1,642万円

を上限とし、去勢手術は1頭あたり8千円を上限としている。

## 【議員辞職】

松本みゆき氏から、令和5年12月6日付で議長あてに「一身上の都合」として坂城町議会議員辞職願が提出され、12月12日の定例会本会議において、地方自治法第126条の規定に基づき、辞職が許可されました。

# 第4回定例会(12月)の審議結果

## 1 全会一致で可決された議案

### (1) 専決

- ① 和解及び損害賠償額の決定

### (2) 条例等

- ① 坂城町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正
- ② 坂城町奨学基金の設置、管理及び処分並びに奨学金の給与に関する条例の一部改正
- ③ 坂城町印鑑条例の一部改正
- ④ 坂城町国民健康保険税条例の一部改正
- ⑤ 坂城町公の施設の指定管理者の指定

- ⑥ 坂城町の議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正
- ⑦ 坂城町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

### (3) 令和5年度補正予算

- ① 一般会計(第6号)
- ② 一般会計(第7号)
- ③ 国民健康保険特別会計(第2号)
- ④ 下水道事業特別会計(第3号)
- ⑤ 下水道事業特別会計(第4号)
- ⑥ 介護保険特別会計(第2号)

## 2 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)		(議員氏名)	結果	塚田	水出	宮入	中村	星	玉川	山城	祐津	大日向	朝倉	大森	中嶋	滝沢
				舞	康成	健誠	忠靖	哲夫	清史	峻一	明子	進也	国勝	茂彦	登	幸映
請願	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書		不採択	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	議長
陳情	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情		不採択	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	職

## 3 全会一致で否決された議案……なし

## 4 請願・陳情審査結果

	件名	提出者	付託常任委員会及び委員会審査結果	本会議における議決結果
請願	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書	長野県教職員組合更埴支部 坂城町単位組合 執行委員長 太田 文昭 紹介議員 大森 茂彦	社会文教 不採択	不採択
陳情	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める長野県民の会 代表 衣川 弘明	総務産業 不採択	不採択

## 表紙



表紙の写真は、元旦に坂城中学校体育館で行われた剣道連盟の寒稽古の様子です。

当日は、坂城町剣道連盟及び千曲市剣道連盟加入者に加え、全国各地からO・B・O Gたちも駆け付け、総勢約90名(うち小中高生30名)が参加しました。

寒稽古を通じ、心身の鍛錬と技術の向上を図っていきたいと坂城町剣道連盟 滝沢会長はお話されていました。(山城 峻一)

## 議 会 日 誌 (主なもの)

10月	2・10・16日 議会報編集委員会
	5日 国道バイパス・県道整備促進期成同盟会総会
	11日 国道18号バイパス建設促進 国要望活動
	12日 千曲坂城消防組合議会定例会
	13日 議会改革等特別委員会/千曲衛生施設組合議会定例会
	20日 議会全員協議会/総務産業常任委員会(閉会中の調査)
	24日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会中央要望
11月	25・27日 上田地域広域連合議会定例会
	26日 町例月現金出納検査/葛尾組合議会定例会
	31日 六ヶ郷用水組合議会定例会
	13~14日 社会文教常任委員会(閉会中の調査)
12月	20日 議会全員協議会
	27日 町例月現金出納検査
	28日 議会運営委員会
	1日 定期事務監査報告
	5~18日 12月議会定例会
5・19・27日 議会報編集委員会	
19日 町例月現金出納検査	

# ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

## 高齢者支援

### 高齢者に質の高い生活を

### 福祉施策の推進に努める

**問** 町内にある特別養護老人ホームへの入所状況は。福祉健康課長 現在、空

きはほとんどない状況である。また、昨年4月の県調査によると、待機人数は町内在住の方が28名である。実際には町外の方や複数の施設に申し込まれている方もおり、さらに多くの申し込みがある



星 哲夫 議員

**問** 今後の介護支援策は。町長 全戸に介護保険制度や、その仕組みに関する情報などを掲載した「高齢者福祉・介護保険サービスガイド」を配布し周知している。また、地域包括支援センターや社会福祉協議会などの相談窓口でも情報提供や案内に力を入れている。長期在宅介護者には介護慰労金支給や介護用品購入費用支援、寝具クリーニング、理美容サービスなど多岐にわたる支援を提供している。さらに介護者を対象とした研修や、介

と考えられる。

護を離れ心身の負担軽減するための交流事業も展開している。今後も高齢者の皆さんが住み慣れた地域で快適な生活が送れるよう、福祉施策の推進に努めていきたい。

**問** 村上地区に介護入所施設設置の考えは。福祉健康課長 今後、介護に関する事業を開始したいと相談があった場合、町として必要な対応を検討していきたい。



村上地区にも介護入所施設を

## 質問項目

星 哲夫 議員 4ページ

- ① 高齢者支援について

塚 田 舞 議員 5ページ

- ① 子どもの健康について
- ② 子育て支援について

水 出 康成 議員 5ページ

- ① 学校給食について
- ② 複合施設について

大日向 進也 議員 6ページ

- ① 令和6年度の町の展望について
- ② 葛尾組合について

大 森 茂彦 議員 6ページ

- ① 誰もが安心して暮らせる町に
- ② 複合施設の機能充実のために
- ③ 加齢による難聴者への補聴器購入助成を
- ④ 町職員の働き方について

中 村 忠靖 議員 7ページ

- ① アピアランスケアについて
- ② 高齢者支援について

宮 入 健誠 議員 7ページ

- ① 有害鳥獣について
- ② 町及び地区主催の行事の在り方について

玉 川 清史 議員 8ページ

- ① 町民の健康と生活を守るために
- ② 展示施設等について
- ③ 通勤通学者の安全確保を

朝 倉 国勝 議員 8ページ

- ① 山林火災について

# 子育て支援

## 子どもたちの声を施策に

できる限り反映していく



塚田 舞 議員

**問** 子育て支援が必要な状況が増えているが、町が実施している取り組みは。

**町長** 「坂城の子は坂城で育てる」をスローガンに、子どもの成長過程に合わせた、切れ目のない一貫した子育て支援を指して取り組んでいる。また、町独自に、不妊・不育症治療費の助成や第3子以降の保育料や保育園副食費、学校給食費の無償化に加え、町奨学金制度、高校卒業までの医療費助成など、子育て世帯の経済的負担を軽減して



若者・子育て世代支援パンフレット

**町長** 核家族化や共働き世帯が増加する状況において、こうした世帯が安心して働ける受け皿としてはもちろん、保育園や児童館が子どもの発達相

**問** 子育て支援施策の成果をどう捉えているか。

**町長** 核家族化や共働き世帯が増加する状況において、こうした世帯が安心して働ける受け皿として

は、子どもの成長過程に合わせた、切れ目のない一貫した子育て支援を指して取り組んでいる。また、町独自に、不妊・不育症治療費の助成や第3子以降の保育料や保育園副食費、学校給食費の無償化に加え、町奨学金制度、高校卒業までの医療費助成など、子育て世帯の経済的負担を軽減して

いる。全ての子どもが等しく心身ともに健やかに成長していけるよう取り組んでいる。

**問** 子育て支援施策の成果をどう捉えているか。

**町長** 核家族化や共働き世帯が増加する状況において、こうした世帯が安心して働ける受け皿として

談や子育て相談ができる機関として有効に機能しているものと考えている。

**問** 子どもたちの声を施策に反映することへの町の考えは。

**町長** 中学生による「模擬議会」を毎年開催しているほか、高大連携事業により※「ベルアーチ」を設置するなど施策に反映してきた。今後も子どもの意見聴取に努め、できる限り施策等に反映していきたい。



水出 康成 議員

# 学校給食

## 質を下げないシステムを

状況に応じ対応していく

**問** 小中学校給食費の無償化を継続し、質が下がらないシステムを作ってほしいとの声が寄せられた。給食材料費について設定費用を超える物価高騰の場合の対処は。

**教育長** 想定以上の物価高騰などによる不足が生じる場合は、その都度、状

**問** 食材のトレーサビリティ把握状況は。

**教育長** 食材産地、賞味期限、製造年月日、製造会社、異物混入の有無などを納入時に確認のうえ記録しており、問い合わせがあれば回答している。

況に応じた必要な対応を検討し、児童生徒に質の高い給食の提供に努めていく。

**問** 複合施設について

**問** 学校給食費無償化の継続的な制度として実現見通しは。

**教育長** 坂城町学校給食無償化実施要綱を新たに制定した。終期は定めず

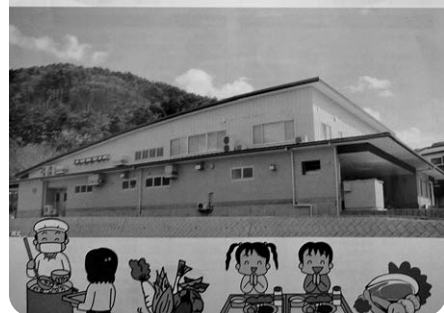
**問** 複合施設については、建設に際して、町民からコンセプトや仕様への意見など声が寄せられる。町民意見の聴取や進捗状況の説明はどのように行っていくか。

**町長** 町民の皆様の幅広い意見をフィードバックして、基本計画を策定していく。また、状況に応じて町民の皆様に全体進捗をお知らせできるように検討していきたい。

財源を確保し継続する。複合施設



坂城町食育・学校給食センター



新施設の建設計画は

令和9年度稼働予定



大日向 進也 議員



現施設を解体し、新リサイクルセンターを整備

問 旧ごみ焼却施設解体後、新施設の建設計画は。町長 解体跡地に上山田不燃処理場と、プラスチックストックヤードを集約した、双方の機能を併せ持つ新たな施設整備を行い、令和9年度からの稼働を予定している。

問 新リサイクルセンター施設における処理対象物は。町長 新施設では、資源ごみとして缶、ビン、ペットボトル、プラスチック製容器包装を処理する。

また、有害ごみについては、これまでの蛍光管、乾電池に加え、新たに製品プラスチックの収集にも対応した施設づくりを行い、地域の資源循環を推進していく。

問 ごみ焼却施設解体に係る費用と新リサイクルセンター施設的设计建設に係る費用見込み額は。町長 物価上昇を勘案するなかで、既存施設の解体撤去工事費用は約11億円、新リサイクルセンター施設の建設工事費用は、約43億円を見込んでいる。今年度においては、事業者選定委員会により事業者選定を行い、入札に向けた準備を進めている。

難聴高齢者に補聴器を

検討していきたい



大森 茂彦 議員

補聴器助成

問 令和4年3月議会で補聴器助成の質問について、町長は「明日は我が身か」と答弁があった。加齢による衰えで難聴になる高齢者が増えてくる。難聴は生活に支障をきたし、孤立や認知症の発症も指摘されている。認知

症の予防法は、聴力の低下を補聴器で補うことで予防になると指摘がある。高齢者が元気に社会生活ができるよう補聴器購入の助成制度の創設はできないか。

町長 制度の創設は慎重にやらなければいけない。やらないとは言っていない。音響装置なども含めて検討していきたい。

複合施設の充実のために

問 複合施設建設委員会に以下のことを要望する。①委員会に町民の一般公募の枠をつくる ②

会議ごとに公開を ③町民参加の部会を設ける等。

企画政策課長 ①人数が限られた公募よりも子育てや障がい者、中高生など意見交換を別に設ける ②素案ができたところで町民の意見を聞く ③部会の設置は状況に応じて柔軟に対応していく。

問 複合施設で健診も行うと思うが、医師などの意見を聞くべきではないか。企画政策課長 必要があるときは、医師など特定分野の方の意見も聞いていきたい。

新聞記事: 大町市が補聴器購入助成 長野県内12市町村に 長野県大町市で7月から高齢者の難聴に対応する補聴器の購入助成がスタートしました。4月から開始された飯山市に続き、県内12市町村になり、市民の運動と日本共産党の提案が実っています。難聴は認知症の原因の一つとされていますが、補聴器は耳で平均15万円と高額です。大町市では、大北生活と健康を守る会が市議会に提案し、6月議会で可決された。

## 補整具助成

# アピアランスケア助成を

## 具体的な制度設計を検討



中村 忠靖 議員

**問** アピアランスケアについての考えは。

**町長** がん治療による脱毛や乳房の損失等の外見の変化は、社会生活が困難となる場合もあり「アピアランスケア」は大変重要と認識している。

## アピアランスケア

～がん治療に伴う外見ケア～



**問** 長野県で行われている助成事業の内容は。

**町長** 昨年4月から、市町村と県が共同し、対象となる補整具等の購入費用の一部を助成する「長野県がん患者へのアピアランスケア助成事業」を実施。これは、ウィッグ等の補整具購入費用の2分の1を、上限2万円で助成するものである。

**問** 町における費用助成の考えは。

**町長** がん患者の苦痛軽減及びその身体・心理・社会問題に対して包括的

な支援は重要と考える。希望する方に対し、助成は必要であり、具体的な制度設計の検討を進めている。

### 高齢者世帯等のごみ処分

**問** ごみ出し困難世帯への対応は。

**住民環境課長** 介護保険サービスとしての支援のほか、ごみ出しの戸別収集等は、対象世帯や収集体制など課題が多く、環境省のガイドラインや先進事例等を参考に研究していく。



宮入 健誠 議員

**問** 有害獣に対する今後の対策は。

**町長** 捕獲対策については、今後、より効率的な捕獲を目指すため、有害獣の動きを感知し、動画を撮影する機器の設置やオ

## 有害獣

### 農作物被害への対応は

### より効率的な対策を検討

りや罾に有害獣がかかった際にスマートフォンなどに情報が届くシステムなど、ICTを活用した捕獲方法についても検討していきたいと考えている。

防除対策については、地域住民の皆さんに協力いただき、山沿いへの侵入防止柵の設置を推進し、山と人の生活圏を広域的に隔てることにより、有害獣の侵入を防止、農業生産の安定や住民生活を守ることを目的とする。

村上地区は今年度完成する計画とし、南条地区は入横尾区が今年度完成予定で、隣接する区については協議を進め、延伸していく計画である。また、坂城地区については、令和7年度からの設置開始を目指し、現在調整しているが、早期設置に向けて、一年間で複数の区での同時施工も視野に入れながら、今後調整していきたい。



完成間近の有害獣侵入防止柵（網掛地区）



灯油価格高騰

## 暖房費補助

### 町も独自の補助を

### 国県給付金を迅速給付する



玉川 清史 議員

**問** 国や県の給付金だけでは不十分である。暖房費への補助(福祉灯油)事業を実施する考えは。

**町長** 国は7月から低所得世帯などに世帯当たり3万円の支援をしている。町としては、国の決定した給付金が、必要な

方々に迅速に届くようにしていく。町独自の補助は考えていない。

任意予防接種にも助成を

**問** 高齢者肺炎球菌ワクチン1回目の任意接種と、2回目の免疫低下での接種について、助成することへの考えは。

**町長** まずは、定期接種の確実な実施が肝要であり、定期接種の対象者への周知に努める。現時点では助成は考えてはいない。

**問** 带状疱疹は、長期にわたる带状疱疹後神経痛など、生活の質の低下や、医療費負担が増える。予防効果の高いワクチンは高額で接種をためらう人も多い。全国的にも接種助成をする自治体が増えている。助成する考えは。

**町長** 現在、国の審議会では定期接種化を継続審議事項とし、県では制度創設の動きもある。国・県の動向を注視しながら、対応を検討していく。

## 山林火災

### 被災山林の再生計画は

### 県と連携し計画を推進



朝倉 国勝 議員

そのうち土砂流出防止保安林は6・4 ha、普通林は約7・5 haである。樹種別ではアカマツ林が約8・9 ha、スギ・ヒノキが約2・8 ha、その他約2・2 haである。

**問** 被災地の再生は、町長 再生については、山林所有者の意向を十分聞くなかで、再生計画を推進する。保安林に指定されているところは県の管理のため、今後、県主導で対応していく。普通林は、町が事業主体となり、造林に係る補助事業などを活用し、山林の再生を図っていきたい。今後も県と連携しながら早期再生に向けて進めていきたい。

**問** 4月6日に、上平地区で発生した産廃施設からの火災は、産廃物一時置場から山林に延焼し、大規模な林野火災に拡大した。林野火災は4月8日正午頃鎮火し、産廃施設の火災は4月14日に鎮火した。この火災の消火活動に尽力された消防団、消防署、地域住民、地元企業に対し、感謝を伝えたい。この火災において隣接する山林に大きな被害が発生した。被災山林の被害状況は。

商工農林課長 焼損面積は全体で約13・9 ha、



燃える産廃施設



## 諏訪圏工業メッセ2023

総務産業常任委員会



出展した町内企業

坂城町からは  
 (株)ケーエムケー、  
 (株)シンコー工業、  
 (株)ヤマザキアクト  
 ティブの3社が  
 出展し、販路拡大  
 のため、担当者が  
 熱心に自社製品  
 のPRを行って  
 おり、我々も各社  
 から製品の説明  
 や今後の開発へ  
 の展望などを聞くことが  
 できた。  
 今年の諏訪圏工業メッ  
 セは、これまでの諏訪市  
 から岡谷市に会場を移  
 し、初めての開催となっ  
 たが、会期中の来場者数  
 は約2万人で前年よりも  
 大幅に増加した。私たち  
 は3日間の会期中の2日  
 目に視察したが、会場に  
 は、企業関係者に加え、  
 諏訪地域の小中学生や高  
 校生も大勢来場されてお  
 り、熱心に各ブースの担  
 当者の話を聞いていた。  
 地域の将来のものづくり  
 を担う人材確保の面から  
 もこの展示会は大きな役  
 割を持っていると感じた。  
 現在、企業は、円安や物  
 価高、混沌とする世界情  
 勢などへの対応を迫られ  
 ているが、この展示会を  
 視察して、これらの懸念  
 材料を吹き飛ばすような  
 熱気を感じた。坂城町で  
 も、今後開催される「さか  
 きものづくり展」に期待  
 したい。(山城 峻一)

## 複合施設と古民家利活用

社会文教常任委員会



古民家「みおやの里」

社会文教常  
 任委員会は11  
 月13日(月)富  
 山県立山町の立  
 山町元気交流ス  
 テーション「みら  
 いぶ」、14日(火)  
 に、石川県中能  
 登町古民家「み  
 おやの里」を視  
 察した。  
 「みらいぶ」  
 の1階は駅改札  
 口、図書館、イベ  
 ント広場やホー  
 ル等アクセスしやすい  
 交流ゾーン。2階は児童  
 書を中心とした図書館、  
 サークルや地域の催しが  
 行える地域交流センター  
 ゾーン。3階は健康福祉  
 課、保健センター、社会福  
 祉協議会がある健康福祉  
 ゾーンの3階建て複合施  
 設である。施設内は、あか  
 るく、調度品含めやさし  
 い雰囲気を利用しやすい  
 を感じ取れる。みんなが、  
 より集まりやすい環境を  
 整えることで、地域交流  
 の促進に役立つと思う。  
 町民の健康と福祉の向上  
 を図り、住民の暮らしを  
 豊かにすることを創造さ  
 せる複合施設であった。  
 ※古民家「みおやの里」  
 は、主屋は切妻造りのあ  
 ずま建ちの外観で、井桁  
 状の太い梁や、広い土縁  
 に地域的な特色を見せる  
 旧能登街道沿いの古民  
 家。古民家再生の目的と  
 して①旧街道沿い民家の  
 家並み保存のモデル整備  
 ②音楽・芸術家の活動拠  
 点整備③御祖地区のまち  
 歩き拠点整備を指し  
 ている。現在、ベビーマッ  
 サージ、ネイル体験など  
 各種教室、会議やワーク  
 ショップ等活動の場とし  
 て利用されている。女性  
 の利用が9割と多いが、  
 幅広い年齢層に活用さ  
 れている。また、女性の口  
 込みによるネットワーク  
 が、利用拡大に貢献して  
 いる。地域の観光振興の  
 場、コミュニティ形成が  
 伺える。

※古民家「みおやの里」  
 旧稲島邸家屋  
 明治42年に新築  
 建築面積240㎡  
 平成23年改修  
 事業費約4800万円

(水出 康成)

# わがまちのアイドル 第2回

## ＝ 坂城の子は坂城で育てる ＝

坂城町で生まれたお子さんをご紹介します。



### ～名前の由来は～

優しく元気良く生きて行ってほしいと、名付けてくれました。

### ～好きな絵本は～

「じゃあじゃあびりびり」が大好きで、何回も読んでもらっています。これからもたくさんの本を読んでほしいな。

### ～好きな遊びは～

お姉ちゃん、お兄ちゃんと一緒にハイハイ追いかけてっこをしたり、ぬいぐるみで遊ぶのが大好き。

### ～お気に入りの場所は～

坂城幼稚園のたんぽぽ教室。

先生のピアノにあわせての手遊びがとても楽しいです。

これから暖かくなったら、公園にもたくさん行って、お気に入りの場所を増やしていきたいな。

### ～最近できたこと～

NHKの「おかあさんといっしょ」や「いないいないばあ」が大好きで、曲が流れてくるとうれしくて体を揺らしちゃいます。

また、つかまらないで10歩歩くことができるようになりました。

パパママは、毎日できることが増えたと驚いています。

### ～パパママからの一言～

これからもいっぱい遊んで、笑って成長して行ってほしいです。



めい  
中村 愛生 ちゃん  
(11か月：町横尾)



平  
和

ある新聞の大学生の投稿に「平和と言うのは、すぐに手から離れてしまふ風船みたいなもの。だからこそ、みんなが必死に守って、つかんで、逃さないようにしないとイケない。その使命は、今を生きる自分たち一人ひとりにある」とありました。

この投稿を読み「朝起きれること。食事をとれること。眠れること。何事もなく一日を過ごせること」が、いかに幸せなことなのかを感じました。

元日に最大震度7の激しい揺れと津波が襲った「令和6年能登半島地震」で被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。今後の活動のなかで防災士の資格を生かし、地域住民の皆様が、安心して安全に過ごせるよう努めてまいります。

(中村 忠靖)

発行責任者 議  
議会報編集委員会

委員長 滝沢 幸映  
副委員長 中嶋 登

委員 山城 峻一  
中村 忠靖  
水出 康成  
塚田 舞